



第一編 古代・中世編

5 室町時代 追加

【北野社家引付】^四(松梅院) ○長享三年(一四八九)

六月五日

一、社領撰州蘆屋庄并得位・時枝算用状出之、
注進蘆屋庄領家并得位・時枝御算用状事

合長享三年

一、蘆屋庄

都合分米參拾五石六斗五升指出面、毎年同先
(勘下同) 堪加參石壹斗貳升先堪同、

并參拾八石七斗七升内

九石七斗五升四合 当損免

參石六斗 法応寺仏性米、毎年同

四石 地下引物、同前

壹石 井料、同前

壹石 政所給、同前

貳石三斗 職事給

貳石四合壹勺 スミ・コモ、庄立用

以上貳拾貳石六斗五升八合壹勺

殘拾五石壹斗一合八勺内

四石貳升五合 四分一

定殘拾壹石八升七合

米代七貫八百十五文和市石別七百五十文

一、同庄毎月夫錢月別壹貫八百文

【忠富王記】 ○明応五年(一四九六)

○文龜元年(一五〇二)

明応五年正月十四日、西宮吉書一通預所、同神郷一通
葺屋一通共以薬師寺安芸守許へ付、扇一本代十足安芸

二遣、^略

文龜元年正月十四日、^略中次西宮吉書、万石二斗四十足

神郷四十足沙汰云々、恒富・難波・葺屋等分也、

北野社領
蘆屋庄算
用状

西宮社領